

宇津木治宣



若者たちが町に定住する施策で人口減少に歯どめを

町長 先進的な取り組みをしている自治体例を調査し、研究していく

質問 少子高齢化が進展し、人口減少社会を迎えている。少子化傾向に歯どめをかけることが、地域社会の活力維持や発展のために不可欠だ。

答弁 町長 平成24年度から第3子以降の保育料を無料にした。学校区ごとの児童館、地域子育て支援センターなど子育て支援に今後力を入れ、子育て世代の定住化につなげる。



質問 住宅事情や就学、就職、結婚を期に、町を離れてしまう若者たちも多いのが現状だ。

答弁 町長 東毛広域幹線道路や高崎・玉村スマートICが開通する。立地条件を生かしたさまざまな施

策で、若者の定住化促進を図りたい。

質問 未婚化・晩婚化が進んでいる。結婚を考へながらも出会いの機会が減少している。独身男女の交流を促進するため、多くの自治体でさまざまな事業を展開している。当町でも、何らかの施策を行う考えはないか。

答弁 町長 ノウハウがないので、こうした取り組みは行っていない。

質問 全国的に「街コン」が広まっている。「街コン」とは、居酒屋、レストランなどの協力のもと、店舗を貸し切り、食べ放題・飲み放題で、さまざまな人との出会いが楽しめるものである。地域経済の活性化にもつながっている。

答弁 町長 今後、プロジェクトチームを立ち上げ、調査研究したい。

町田むねひろ



通学路の安全確保に万全を期せ

町長 危険箇所は、速やかに改修する

質問 通学路の安全確保は、児童の生命を守るため、町政の最も重要な課題である。町内の小中学校の通学路で最も危険な箇所は、中央児童館南の道路だと思つ。しかし、道路の拡幅は難しいため、新たに両水の南を通り歩道橋に至る箇所に通学路を新設されたい。なお、南玉公民館から新設の通学路の間には街路灯がないため、ぜひ街路灯を設置されたい。

答弁 町長 議員提案の新しい通学路と街路灯の設置は、有効な方策と考えられる。関係者と協議しながら、速やかに実施する方向で検討したい。



質問 国際教育に対するニーズにこたえるため、国際教育特区の認定を得し学校を設置することは、私の持論である「教育の町たまむら」の実現に資することであり、大賛成である。しかし、(株)群馬フエリーチエ学園による学校設置については、学校の施設や財産、教育内容、存続等に問題があるとの指摘もあり、慎重を期されたい。

答弁 町長 (株)群馬フエリーチエ学園は、平成16年から幼稚園を開設し、現在約120名の園児が通園している。さらに小学部が平成21年に設置され、無認可ではあるが、現在38人が在籍している。幼稚園の保護者からの小学校設置の要望も強く、小学校設置後も継続的に一定の入学者が見込まれる。

※国際教育特区
株式会社立による英語に特化した教育を行う小学校を設置し、町全体の英語教育の振興を図るもの